

31H 山本 絃生 32H 石垣 さら 32H 藤岡 由依
 34H 今川 大宙 35H 谷内 万里菜 36H 市川 涼太

■課題

就職や進学先が能登に少ないため、能登を離れる人が多い。

■解決策

企業を誘致して、能登に大学をつくる

■現状（課題の背景）

能登地区の人口が近年減少を続けている

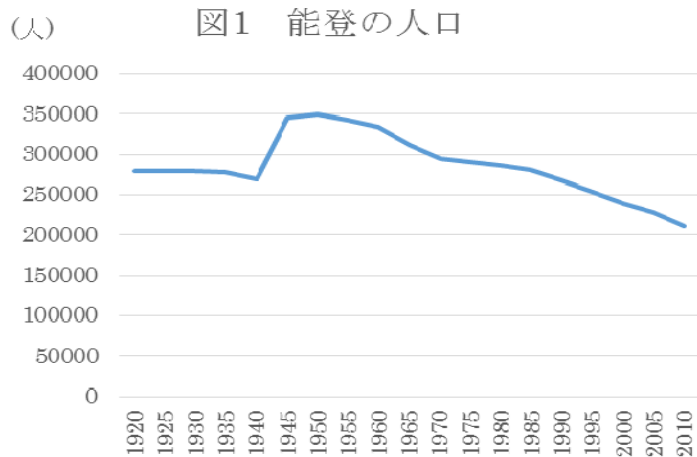


図1より、能登は1945年を境に、人口が減少している。一般的に、人口流出の原因として、以下のことが挙げられる。

<人口流出の原因>

- ① 雇用の機会不足
- ② 社会インフラの不足（交通、病院、商店等）
- ③ 良質な教育環境の不足（高校、大学）

この中でも、能登は大学がなく、③の教育環境の不足に該当する。

そのため、大学を作ることで、人口の流出を防げるのではないかと考えた。

大学をつくるときの資金はどうするか

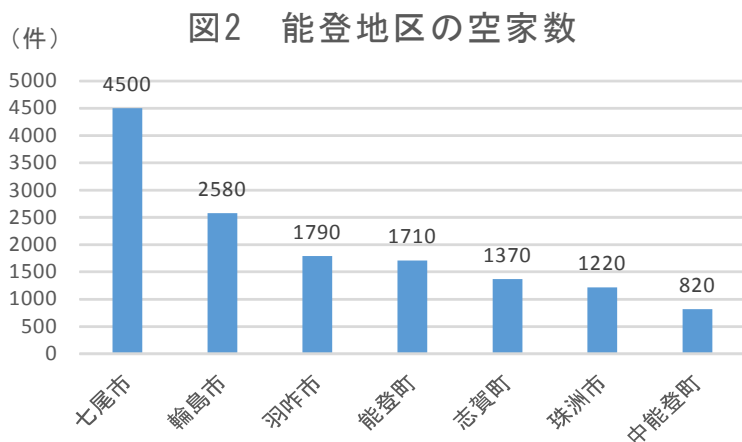
<企業の支援で作られた大学の例>

- 豊田工業大学 トヨタ自動車が設立
- 流通経済大学 日本通運が設立
- 新潟工科大学 500社を超える企業が出資

<企業が大学を作る利点>

- ① 大学卒業後にそのまま就職できる
- ② 経済的な支援になる

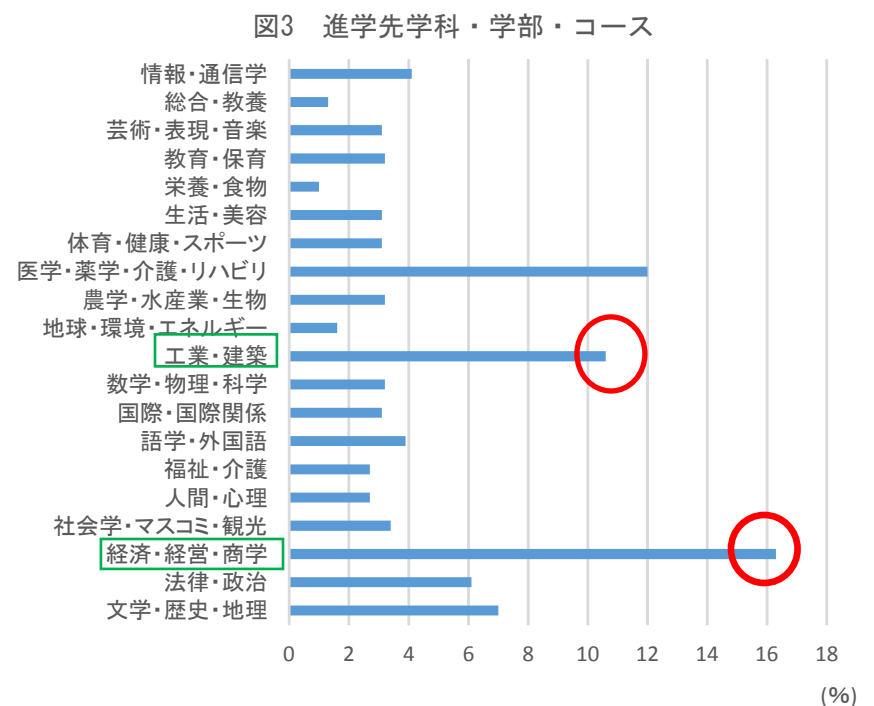
能登は、金沢に比べて地価が低く、オフィスを建てやすい。また、学生寮を建てずに、空き家を利用することで、経費を削減できる。図2からわかるように、能登には空き家が多い。



人気を集めるにはどうすればよいか

人気の高い学部を設置すればよい。

マイナビの調査によると、図3のように、「工業・建築」、「経済・経営・商学」に関する学科・学部が人気であるとわかった。そのため、工業や経済に関する企業を誘致して、専門的な知識を学べるような学部を設置すればよい。



■具体的内容

- 企業を能登に誘致して、大学をつくる
- 人気の高い経済、工業に関係する学部の設置
- 空き家を学生の宿舎に利用する

■効果

- 能登地区の高校生が、金沢や県外に行かずに地元の大学に進学できる
- 企業にそのまま就職ができる
- 他地域からの人の呼び込みが可能
- 空き家の有効活用

■参考文献

- 「石川県の人口の動向(図1)」 <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/documents/01shiryo5.pdf>
- 「人口減少がもたらす影響」 <http://www.city.unzen.nagasaki.jp/file/temp/3962518.pdf>
- 「平成25年市町村別調査結果抜粋(図2)」 <http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/2911/H25fuhyou3-sichyou.xls>
- 「マイナビ 進路のミカタ(図3)」 <https://mikata.shingaku.mynavi.jp/article/3720/>